

行田市・南河原村合併 20 周年記念事業 実施報告書



令和8年3月
埼玉県 行田市

～行田市・南河原村合併 20 周年記念事業実施報告書目次～

1 行田市・南河原村合併 20 周年記念事業について

行田市・南河原村合併 20 周年記念事業について…………… 1

2 旧南河原村について

1. 村の花・木 …………… 2
2. 村の産業 …………… 2
3. 村の伝統文化 …………… 3

3 記念事業

1. 行田市・南河原合併 20 周年記念品作成・配布事業 …………… 4

4 冠事業

1. 行田市・南河原村合併 20 周年記念展示 …………… 5
2. 第28回ときめきレインボーフェスティバル …………… 6, 7
3. 南河原地区体育祭 …………… 8
4. 埼玉県芸術文化祭2025地域文化事業 第77回行田市文化祭 …………… 9, 10
5. 第72回市民体育祭 …………… 11
6. パネル展示「南河原の歴史」 …………… 12, 13
7. 南河原ふれあい祭り …………… 14, 15
8. 第28回公募行田市美術展 …………… 16, 17
9. 第30回行田市公民館ふれあいコーラス発表会 …………… 18, 19

5 その他の事業

1. 合併記念給食 …………… 20, 21

6 広報・宣伝

1. 各種メディア等での記事の掲載…………… 22, 23

1 行田市・南河原村合併20周年記念事業について

「新行田市」は、平成18年1月1日に旧行田市と旧南河原村の合併により誕生し、令和7年度で合併から20周年を迎える。

これまでの歩みを振り返り、合併 20 周年となる節目を市全体で祝うとともに、各種記念事業に取り組むもの。

実施期間

令和7年(2025年)4月1日 ~ 令和8年(2026年)3月31日

事業の構成

(1)記念品作成・配布事業

合併20周年を記念した記念品を作成し、南河原地区で開催されるイベント内で配布を行うもの。

(2)冠事業

例年実施している事業及び新規事業の中で、合併 20 周年事業としてふさわしい事業に「行田市・南河原村合併 20 周年記念」という冠をつけてより盛大に実施するもの。

2 旧南河原村について

南河原村は埼玉県北東部に位置し、北・東・南を旧行田市に囲まれ、西は熊谷市に隣接していた。合併前においては、埼玉県内で蕨市に次いで2番目に小さな自治体であった。村全体は利根川の沖積平野上にあり、豊かな水系に恵まれていたことから、米や麦を中心とする農業が発展し、広大な田園風景が広がる自然豊かな村であった。

【合併当時】・面積 5.82 平方キロメートル ・人口 4,222 人

1.村の花(コスモス)・木(さざんか)

コスモスは「真心」、さざんかは「謙譲」を表す。

「人の和は真心を尽くし、譲り合うことから始まる」という理念のもと、人を大切にする心と心温まる交流を村づくりの原点と考え、平成元年に村の発足100年を記念して定められた。



コスモス



さざんか

2.村の産業(南河原スリッパ)

旧南河原村が誇る伝統産業の一つで、村民の農閑期の副業としてスリッパを製造したことが始まり。

スリッパの生産量は、最盛期の昭和55年には約3,153万足を製造し、日本一の生産量を誇った。

その伝統工芸を後世に残すべく、南河原商工会が中心となり、平成29年に「南河原スリッパプロジェクト」を立ち上げ、時代に適応したスリッパの新たなカタチを追い求め、地場産業の復興を目指して活動している。



3.村の伝統文化(武蔵あばれ太鼓)

平成元年に南河原村が村制施行100周年を迎えたのを記念して、新しく創作された郷土芸能。

南河原出身の武蔵武士、河原太郎・次郎兄弟の源平合戦一の谷の先陣物語を表現したもので合併後は行田市の郷土芸能の一つとなっている



3 記念品作成・配布事業

1.

事業名	行田市・南河原村合併 20 周年記念品作成・配布事業
事業主体	総合政策部 企画政策課
実施年月日	作成：令和7年5月～9月 配布：令和7年10月5日(日)、11月3日(月)
実施場所	—
配布個数	オリジナルマフラータオル：500 個 オリジナルエコバッグ：2,000 個
事業内容及び効果	<p>合併20周年を記念したオリジナルタオルとエコバッグを作成し、南河原地区体育祭ではオリジナルタオルを、南河原ふれあい祭りではエコバッグを参加者に配布し、合併20周年の節目を市全体で祝した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>オリジナルエコバッグ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オリジナルマフラータオル</p> </div> </div>
事業経費	1,153,350円
備考	

4 冠事業

1.

事業名	行田市・南河原村合併 20 周年記念展示
事業主体	市民生活部 南河原支所
実施年月日	令和7年4月～令和8年3月
実施場所	南河原支所エントランス
参加人数	—
事業内容及び効果	<p>南河原支所のエントランスに、旧南河原村の役場庁舎の写真や村旗、村民憲章などを展示した。</p> <p>来所者には本展示をご覧いただくことで、合併前の記憶が呼び起こされただけでなく、より一層の郷土愛の醸成にも寄与した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲各種展示の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲南河原支所入口の表示</p> </div> </div>
事業経費	—
備考	

2.

事業名	第28回ときめきレインボーフェスティバル
事業主体	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和7年7月6日(日)
実施場所	行田市産業文化会館ホール
参加人数	768人
事業内容及び効果	<p>行田市文化団体連合会加盟団体(ステージ部門)が日頃の活動成果を発表する場を提供するとともに、広く市民に鑑賞の機会を提供し市民文化の高揚を図ることを目的として実施した。</p> <p>文化団体連合会加盟の9団体に加え、進修館高校ダンス部や長野ささら獅子舞保存会も参加し、多彩なステージを披露した。</p> <p>また、合併20周年を記念し、南河原商工会の協力を得て、南河原スリッパの特別展示を行った。</p>
事業経費	706,226円
備考	共催:行田市文化団体連合会、(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

《上演中の様子》



▲フラダンス連盟



▲長野ささら獅子舞



▲日本舞踊連盟

《合併20周年記念展示》



▲展示の様子

3.

<p>事業名</p>	<p>南河原地区体育祭</p>
<p>事業主体</p>	<p>南河原地区スポーツ協会</p>
<p>実施年月日</p>	<p>令和7年10月5日</p>
<p>実施場所</p>	<p>南河原中学校</p>
<p>参加人数</p>	<p>500人</p>
<p>事業内容及び効果</p>	<p>体育祭を通して、健康で明るく豊かな市民生活を築くため、また、スポーツ・レクリエーションを広く普及し、スポーツ活動を一層活発化することを目的として開催した。</p> <p>また、体育祭の開催と併せて「行田市・南河原合併20周年」を記念したマフラータオルを配布し、合併20周年のこれまでの歩みを振り返るとともに、節目の年を祝した。</p> <div data-bbox="598 1265 1197 1691"> <p>行田市・南河原村合併20周年 第16回南河原地区体育祭</p> <p>主権 南河原地区スポーツ協会</p> <p>開催日 令和7年10月5日(日) 会場 南河原中学校校庭</p> <p>行田市・南河原村合併20周年記念 第16回 南河原地区体育祭 日時 10月05日(日) AM8:30 開始 雨天中止 場所 南河原中学校校庭</p> <p>▲体育祭プログラムとチラシ</p> </div>
<p>事業経費</p>	<p>—</p>
<p>備考</p>	<p></p>

4.

事業名	埼玉県芸術文化祭 2025 地域文化事業 第 77 回行田市文化祭
事業主体	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和7年10月25日(土)～11月23日(日)
実施場所	行田市産業文化会館・行田市教育文化センター 他
参加人数	3,397人
事業内容及び効果	<p>広く文化に親しむ人々の発表及び鑑賞の場を設けることにより、行田市文化の発展に寄与することを目的として開催した。</p> <p>市内各所の施設において、展示発表や大会、ステージ発表が行われ、日頃からの活動の成果を発表する場となるとともに、市民の生涯学習の推進につながる事業となった。</p> <p>【参加団体】</p> <p>●展示部門(計 1,021 点の作品展示) 行田美術会、行田市書道人連盟、行田市写真連盟、創美会、行田市工芸協会カリタスS41、行田市華道会、行田絵手紙あおい会、行田市俳句連盟、行田市菊花連絡協議会、さきたま盆栽会</p> <p>●大会・発表部門(囲碁・将棋大会、茶席 2 席、ステージ発表) 行田市碁楽会、行田市将棋連盟、行田市茶道会 行田市合唱連盟、行田演奏家連盟、行田吹奏楽連盟</p> <p>また、合併20周年を記念し、下記の特別展示及びプログラムを実施した。</p> <p>≪特別展示≫南河原スリッパ展示(南河原商工会) ≪特別プログラム≫獅子舞演舞(在家ささら保存会)</p>
事業経費	348,725円
備考	共催:埼玉県、埼玉県教育委員会、行田市文化団体連合会、埼玉県芸術文化祭実行委員会、(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

《展示部門》



▲押し花体験の様子



▲展示会場の様子

《大会・発表部門》



▲吹奏楽連盟による発表の様子



▲特別プログラム(在家ささら獅子舞)の様子

《合併20周年記念展示》



▲展示の様子

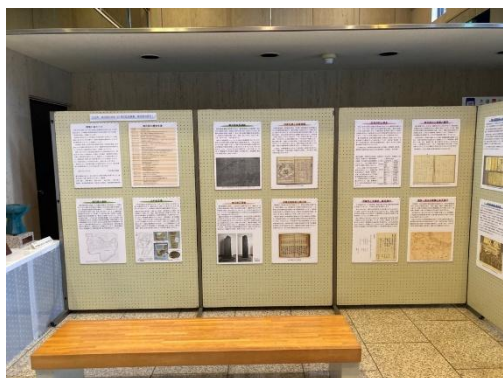
5.

事業名	第72回市民体育祭
事業主体	生涯学習部 スポーツ振興課
実施年月日	令和7年10月26日(日)
実施場所	総合公園自由広場
参加人数	—
事業内容及び効果	雨天のため中止
事業経費	—
備考	

6.

事業名	パネル展示「南河原の歴史」
事業主体	生涯学習部 郷土博物館
実施年月日	令和7年10月1日(水)～令和8年2月27日(金)
実施場所	・南河原支所(令和7年10月1日(水)～令和8年2月27日(金)) ・中央公民館(令和7年10月1日(水)～11月30日(日)) ・旧忍町信用組合店舗ヴェール・カフェ(令和7年12月3日(水)～令和8年1月30日(金))
参加人数	－
事業内容及び効果	<p>平成18年1月1日の行田市と南河原村の合併から20年となるのを記念し、古代から現代までの南河原地区の歴史をパネルで紹介した。</p> <p>展示パネルの構成は以下のとおりとし、会場のスペースに合わせて設置した。</p> <p>【古代】「南河原の遺跡」・「とやま古墳」・「南河原条里遺跡」 【中世】「河原兄弟と平家物語」・「南河原板石塔婆」・「忍城主成田氏と南河原」 【近世】「近世の村と領主」・「南河原村と徳川家康の鷹狩」・「忍城代と犬塚・中江袋」・「河川の堤防・用水の普請と中江袋村」 【近現代】「富士浅間信仰と先達たち」・「北埼玉郡と南河原」・「明治の合併と南河原」・「南河原村とスリッパ」 【民俗・文化】「松本分柳と俳諧ネットワーク」・「義人を祀る『柴山様』」・「在家の獅子舞」・「馬見塚の獅子舞」</p> <p>各施設におけるパネル展示によって、南河原の歴史・文化について、改めて認識を深めてもらうことができた。</p>
事業経費	22,240円
備考	

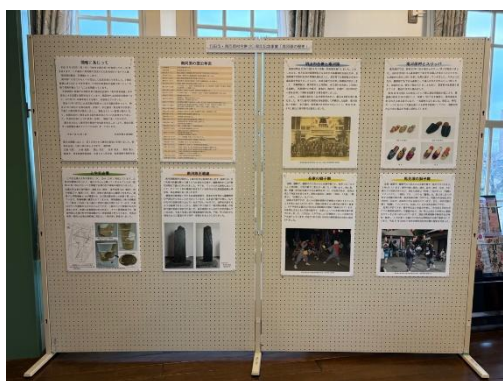
《各施設のパネル展示の様子》



▲南河原支所



▲中央公民館



▲旧忍町信用組合店舗ヴェール・カフェ



7.

事業名	南河原ふれあい祭り
事業主体	環境経済部 商工観光課
実施年月日	令和7年11月3日(月)
実施場所	南河原中学校
参加人数	約2,000人
事業内容及び効果	<p>地域のふれあいの場として、地域の方々が世代を超えて集い、笑顔を交わす秋の恒例イベントとして開催した。</p> <p>ダンスやライブ、はたらく車体験コーナーなど、多くのイベントが行われ、大勢の観客で多いに賑わった。</p> <p>地域における商工業者や団体と連携し各種催し物や抽選会を開催し、売り上げの拡大、個店商品のPR等、商工業の振興を図るとともに地域社会のコミュニティ形成に寄与した。</p> <p>また、「行田市・南河原合併20周年」を記念した記念品を配布し、来場者には笑顔とふれあいが詰まった一日を過ごしていただくことができた。</p>
事業経費	951,186円
備考	主催:南河原商工会ふれあい祭り実行委員会



▲ステージイベントの様子



▲グルメブースの様子



▲放水体験の様子



▲救急車を展示している様子

8.

事業名	第28回公募行田市美術展
事業主体	生涯学習部 生涯学習課
実施年月日	令和8年2月20日(金)～23日(月)
実施場所	総合体育館サブアリーナ
参加人数	1,529名
事業内容及び効果	<p>市内及び近隣市町村に在住・在勤・在学の15歳以上の方(中学生を除く)による絵画・彫塑、工芸、書、写真の創作作品を公募し、賞の授与および展示を行った。今年度は、合併20周年を記念し、各部門に『行田市・南河原村合併20周年記念賞』を設置した。</p> <p>文化・芸術活動への参加意欲がある方や団体へ作品の発表・展示を行う場を提供するとともに、文化・芸術活動を鑑賞する機会の拡充を図り、行田市の文化の発展に寄与した。</p> <p>合計321点が陳列され、美術展当日は多くの鑑賞者でにぎわった。</p> <p>【陳列点数】 ●絵画・彫塑 153点(絵画 143点・彫塑 10点) ●工芸 40点 ●書 65点 ●写真 63点</p>
事業経費	992,019円
備考	共催:行田市美術家協会・(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団



▲絵画部門展示の様子



▲工芸部門展示の様子



▲写真部門展示の様子



▲書部門展示の様子

9.

事業名	第30回行田市公民館ふれあいコーラス発表会
事業主体	生涯学習部 中央公民館
実施年月日	令和8年3月7日(土)
実施場所	行田市教育文化センター「みらい」文化ホール
参加人数	234名
事業内容及び効果	<p>市内の公民館で活動するコーラスグループが日頃の活動の成果を発表し、コーラスを通して親睦と交流の輪を広げることを目的として発表会を開催した。</p> <p>今年度は、各地域公民館から10組のコーラスグループが参加し、発表会に向けて一生懸命練習に取り組んだ成果を披露した。美しい歌声が会場を感動で包み込み、発表会の冒頭では「行田市歌」、最後には「ふるさと」を会場の一般参加者も交えて全員で合唱。音楽を通じて絆を深める心温まる発表会となった。</p>
事業経費	52,474円
備考	



▲発表会開会挨拶の様子



▲発表の様子



▲参加者全員で「行田市歌」を合唱する様子

5 その他の事業

1.

事業名	合併記念給食
事業主体	学校教育部 学校給食センター
実施年月日	令和8年1月29日(木)、30日(金)
実施場所	市内の全小・中学校
提供人数	令和8年1月29日(木) 2,786人 令和8年1月30日(金) 2,408人
事業内容及び効果	<p>行田市・南河原村合併20周年の節目を記念した「給食総選挙」を実施し、旧行田市と旧南河原村両地域の地場産物である「青大豆」を使用したメニューの中から、児童・生徒が一番食べたいメニューについて投票した。</p> <p>この結果、1番得票数の多かった「青のりポテトビーンズ」と2番目に得票数の多かった「ビーンズカレー」をメニューとして選定し、同じく地場産物である「しいたけ」を使用したメニューとともに「合併記念給食」として提供した。</p> <p>【献立】 ごはん(行田産米) コーヒーミルク 青のりポテトビーンズ(青大豆メニュー投票1位) ビーンズカレー(青大豆メニュー投票2位) 肉野菜いため(行田産しいたけ入り) デザインのり(合併記念ロゴマーク入り)</p>
事業経費	約1,743,240円 ※1月給食提供回数/1月提供分の給食食材費で算定
備考	<p>・1月29日(木)提供校(西小学校、忍小学校、南小学校、見沼小学校、埼玉小学校、太田小学校、下忍小学校、泉小学校、桜ヶ丘小学校、南河原小学校)</p> <p>・1月30日(金)提供校(東小学校、北小学校、忍中学校、行田中学校、長野中学校、見沼中学校、埼玉中学校、太田中学校、西中学校、南河原中学校)</p>



▲提供した合併記念給食

6 広報・宣伝

1.

事業名	市報ぎょうだ特集記事掲載
担当部署	総合政策部 広報広聴課
実施年月日	—
参加人数	市報ぎょうだ総発行部数 31,500 部
事業内容及び効果	<p>市報ぎょうだ1月号4～7ページで「行田市は合併20周年を迎えました」と題し、カラーページで行田市・南河原合併20周年を特集し、市民へ周知を図った。</p> <p>4・5ページでは合併20周年の歩みや旧南河原村の概要、6・7ページでは南河原地区を代表する植物や史跡などを写真と共に紹介した他、合併20周年記念冠事業を一覧で紹介した。</p>
事業経費	—
備考	

旧南河原村について



旧南河原村は、埼玉県の北東部に位置し、北・東・南を取り囲むように旧行田市が、西を蕨田市が隣接し、合併前は埼玉県内で3番目に小さな自治体でした。

村章
「ミナミ」を象徴化したもので、村民の和を、共に働いた喜びを取り入れ、平和・平等の精神を表現

村の特産品 南河原スリッパ
昭和29(1954)年ごろから始まったスリッパ製造。産量第1位(1980)年には年間約133万足を製造し、日本一の生産量を誇りました。現在では、海外の特産的な生地を使用し、人気を博しています。

村の花 コスモス
コスモスは「真心」、サザンカは「謙譲」を表しています。人を大切にする心と交流を村づくりの原点と考え、平成元年に村の発足100周年を記念して定められました。

村の木 サザンカ
昭和29(1954)年ごろから始まったスリッパ製造。産量第1位(1980)年には年間約133万足を製造し、日本一の生産量を誇りました。現在では、海外の特産的な生地を使用し、人気を博しています。

行田市は 合併20周年を迎えました



行田市は、平成18(2006)年1月1日に、南河原村と合併し、今年で合併から20周年を迎えました。

今月の特集では、皆さんに改めて南河原地区のことを知ってもらうとともに、合併20周年記念事業について紹介します。

今後も、誰もが未来に向かって安心して暮らすことができるまちを目指し、市民の皆さんと一緒に歩みを進めていきます。

南河原村の誕生

南河原村は、明治22(1889)年4月に市制・町村制の施行に伴う全国編成での町村合併により、南河原村、大塚村、中江森村、馬見塚村が合併して誕生しました。



年表
明治22年 南河原、中江森、馬見塚、大塚の4村が合併して南河原村に
平成元年 合併施行100周年
平成16年 全道の汚泥再生施設「豊沼南河原浄化センター」完成
平成16年 埼玉県内最高記録交通事故ゼロ7,000日達成
平成18年 行田市と合併

合併20年のあゆみ	合併20年のあゆみ
令和7(2025)年	平成18(2006)年
令和6(2024)年	平成20(2008)年
令和5(2023)年	平成21(2009)年
令和4(2022)年	平成22(2010)年
令和3(2021)年	平成23(2011)年
令和2(2020)年	平成24(2012)年
令和1(2019)年	平成25(2013)年
平成31(令和元)年	平成26(2014)年
平成30(2018)年	平成27(2015)年
平成29(2017)年	平成28(2016)年
平成28(2016)年	平成29(2017)年
平成27(2015)年	平成30(2018)年
平成26(2014)年	平成31(令和元)年
平成25(2013)年	
平成24(2012)年	
平成23(2011)年	
平成22(2010)年	
平成21(2009)年	
平成20(2008)年	
平成19(2007)年	
平成18(2006)年	

市報ぎょうだに掲載した特集記事

3 合併20周年記念事業

行田市・南河原村合併20周年記念事業として9事業が決定されています。その多くは令和7年中に実施されましたが、本年にも実施される事業もありますので、ぜひご参加ください。

事業名	開催日・時期
1 行田市・南河原合併20周年記念展示	令和7年4月～令和8年3月
2 第28回ときめきレインボーフェスティバル(終了)	令和7年7月6日
3 南河原地区体育祭(終了)	令和7年10月5日
4 埼玉芸術文化祭2025地域文化事業 第77回行田市文化祭(終了)	令和7年10月25日～11月23日
5 第72回ぎょうだ市民体育祭 密中止	令和7年10月26日
6 パネル展示「南河原の歴史」	令和7年10月～令和8年2月
7 南河原ふれあい祭り(終了)	令和7年11月3日
8 第28回公舉行田市美術展	令和8年2月20日～23日
9 第30回行田市公民館ふれあいコーラス発表会	令和8年3月7日

南河原ふれあい祭り
令和7年11月3日、合併20周年記念事業の一環として、第77回南河原ふれあい祭りが南河原中学校で開催されました。ステージイベントや物販ブースは、多くの来場者で賑わいました。

パネル展示「南河原の歴史」
南河原地区の歴史と文化に関するパネル展示を開催しています。展示を通じて、南河原の歴史や文化財を知ることができます。改めて郷土の歴史への認識を深めることができます。

合併20周年記念品
合併20周年を記念しオリジナルのタオルとエコバッグを作成し、南河原地区体育祭ではタオルを、南河原ふれあい祭りではエコバッグを参加者らに配布しました。

▶問い合わせ 企画政策課(内線309・312)

1 南河原をもうちょっと知る

- キタミソウ**
キタミソウは北海道、九州の一部、埼玉県東部を中心とした北関東だけに知られる希少な植物で、絶滅危惧目類に指定されています。国内最大規模の群生地である馬見塚周辺の田畑内では、3～4月頃、11～12月頃におわずかにミミズリメートルほどの星形の白い花を咲かせます。
- 河原兄弟**
河原太郎高直・次郎盛直兄弟は、平安時代末の武士で北河原・南河原あたりを所領していました。源永3(1184)年、源平一合の合戦「生田の森(鹿神平野)」の戦いで、源氏方の先鋒を駆け、壮絶な戦死を遂げた活躍が「平家物語」に記述されています。
- 南河原石塔婆**
飯沼寺(南河原1503)の境内にある2基の大型石塔婆で、河原兄弟の供養のために建てられたと伝えられている。現状の石塔婆です。鎌倉時代中期の代表的な碑として知られ、仏教を種子の他に伝えているの図像を彫り込んでいる点で珍しく、昭和3(1928)年に国の史跡に指定されました。
- 馬見塚橋**
昭和10(1935)年に土屋川にかけられたコンクリート橋で、瓦葺には文化4(1870)年と安政3(1858)年建立の馬頭観音が認められています。念仏が彫型をしたコノクナ高橋と桜花橋の縁側と高欄部の滑きり模様が施され、平成17(2005)年に土木学会により日本の近代土木遺産の一つに選定されました。

2 数字で見る行田市の20年

人口	ごみ排出量
平成18(2006)年(1月1日現在) 88,786人	平成18(2006)年度 34,604t
令和7(2025)年(1月1日現在) 77,864人	令和6(2024)年度 26,293t

世帯数	製造品出荷額等
平成18(2006)年(1月1日現在) 31,465世帯	平成18(2006)年(12月31日現在) 3,156億8,801万円
令和7(2025)年(1月1日現在) 36,396世帯	令和6(2024)年(6月1日現在) 3,961億9,921万円

出生数	農業算出額
平成18(2006)年(12月31日現在) 718人	平成18(2006)年 48億4,000万円(概)
令和6(2024)年(12月31日現在) 336人	令和5(2023)年 28億円(概)

※1 世帯、3名未満世帯は「統計ずり」
※2 出典は「平成18年生産農業所得統計」(農林水産省)
※3 出典は「令和5年市町村別農業産出額(概計)」(農林水産省)

事務局:行田市 総合政策部 企画政策課

〒361-8601 埼玉県行田市本丸2-5

TEL:048-556-1111 FAX:048-553-1355

E-mail:kikakuseisaku@city.gyoda.lg.jp